

歯科医師・歯科衛生士のための

睡眠歯科医療

パーフェクトセミナー

全配信期間

2024年10月19日(土)～2025年1月6日(月)

受講料無料
web配信セミナー

医科 × 歯科の先生をお迎えし

睡眠歯科の基礎から臨床応用、医科歯科連携まで徹底解説！

睡眠歯科コトハジメ



配信期間

2024年10月19日(土)
～2025年1月6日(月)

福森 洋平 先生

虎の門病院歯科 勤務

睡眠歯科治療における デジタルワークフロー最前線



配信期間

2024年10月26日(土)
～2025年1月6日(月)

宮地 舞 先生

DENTISTRY TOKYO SINCE 1925
MIYACHI SHIKA 勤務

OSAにおける 一般歯科医師によるOA治療のTips!



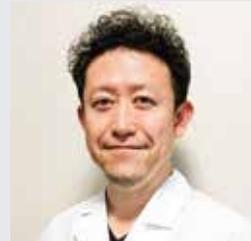
配信期間

2024年11月2日(土)
～2025年1月6日(月)

陶山 雄司 先生

西谷すやま歯科医院 院長

今日から始める 小児の医科歯科連携



配信期間

2024年11月9日(土)
～2025年1月6日(月)

杉山 剛 先生

尾張こどもの睡眠・呼吸・
アレルギークリニック 院長

お申込み

ヨシダのホームページよりお申込みください。

スマホからはQRで簡単アクセス▶

ヨシダ



<https://www.yoshida-dental.co.jp>

※G-PLUSへの会員登録が必要です。



お申込みから受講までの流れ



ヨシダホームページより

お申込み

※G-PLUSへの会員登録が必要です。



ご登録のアドレスへ

申込み完了メールが

届きます



開催日時になったら

PCや携帯からセミナー

視聴ページへアクセス

※受講の際はスピーカーではなく、ヘッドセットやイヤホンのご使用をお勧めします。※通信不具合によりご参加・ご視聴いただけない場合の保証はできかねますので、予めご了承ください。

セミナー内容についての
お問い合わせ

TEL.03-3845-2925

(平日 10:00-17:30)

(株)ヨシダ 画像・CAD/CAM部(担当:芮)

G-PLUS会員登録や
セミナー受講方法の
お問い合わせ

g-plus@yoshida-dental.co.jp

※メールでの受付・回答のみとさせていただきます。

※お問合せは順次対応させていただきますが、状況により回答
までお時間をいただく場合がございます。予めご了承ください。



睡眠歯科コトハジメ

福森 洋平 先生

日本歯科麻酔学会 認定医
日本有病者歯科医療学会所属



閉塞性睡眠時無呼吸 (OSA) は概して、自覚的な症状に乏しいため、家族にいびきや無呼吸を指摘され医療機関を受診することが多くありますが、無治療のままだと OSA に起因するストレスから、心疾患や脳血管障害の発症リスクが上昇することが明らかとなっています。ストレスの多い現代社会では、睡眠の質を向上させることは必須と考えます。

OSA の患者には、口腔内および頭頸部領域に顕在する特徴が視認できます。この特徴を確実に理解することで歯科医師だけでなく、歯科衛生士も日々の臨床を通して OSA を早期発見し、治療に介入することができます。本セミナーでは歯科麻酔科医の立場から OSA 患者の早期発見と医科歯科連携の実際を当院での現状を含め解説していきます。

睡眠歯科治療におけるデジタルワークフロー最前線

宮地 舞 先生

日本睡眠学会 / 日本睡眠歯科学会所属
米国口腔顔面痛学会専門医
米国睡眠歯科医学会専門医



日本人の 5 人に 1 人が罹患しているといわれる睡眠時無呼吸。歯科においては、潜在性患者を早期に発見し、より迅速にその人の症状に合わせた口腔内装置を製作・装着することが求められています。本セミナーでは、実際の診療の流れをイメージできるような実例を提示しながら、日本における睡眠歯科治療の現状、口腔内スキャナー、3D プリンター、CT などのデジタル技術の活用法とその可能性を解説していきます。

OSAにおける一般歯科医師によるOA治療のTips!

陶山 雄司 先生

睡眠学会歯科専門医
保存学会・審美学会・顎咬合学会認定医
接着歯学会指導医・専門医



睡眠の重要性が一般に普及される近年、OSA (閉塞性睡眠時無呼吸) の代表的な治療法に持続陽圧呼吸療法 (CPAP) と口腔内装置 (OA) があり、医科から OA 作製依頼を受ける機会も今後増えていくと考えられます。歯科領域においても「Sleep Dentistry」の分野が注目され、矯正治療や包括的な全顎治療を行う際、いかに気道を損なわずに治療をゴールに導くかが重要視されはじめています。本セミナーでは OSA を疑う口腔内所見から OA の種類やその効果、OA 作製後のマネージメントから偶発症の対処法を解説いたします。

今日から始める小児の医科歯科連携

杉山 剛 先生

日本小児科学会指導医・専門医
日本アレルギー学会指導医・専門医
日本睡眠学会専門医



一人の患者に対して医科と歯科が協力して治療を行うことが「医科歯科連携」である、というのが一般的な考え方ではないでしょうか。そんな中、私が医科歯科連携に取り組んできた中で強く感じるのは、この国の未来を担うこども達にこそ、多くの専門科の目が注がれるべきではないか、ということです。本セミナーでは、「小児の口呼吸」をキーワードに歩んできた小児の医科歯科連携の 10 年間の歴史と、理想的な医科歯科連携のあり方について解説いたします。